

MSUB 留学報告書

文学部英語英米文学科 4年 松尾美紀

私がアメリカの文化や英語に興味を持ったのは小学校高学年からでした。大学二年次の夏休みに3週間カナダの語学学校へ留学したのを機に、本格的に長期の留学を考えていました。自分の語学力や初めての長期海外生活への不安もあり、大学三年次まで留学に行くことをためらっていましたが、モンタナ留学に行った先輩から留學生活の話聞き、それを機にこの交換留学に応募しました。モンタナでの9か月間は、英語力の向上に加え、多くのことを学び、経験し、学業以外の面でも充実した日々を送ることができました。

1. モンタナ留学の魅力

モンタナは、海外映画やドラマのようなアメリカの“都会”なイメージと違い、自然にあふれ、のんびりとした過ごしやすい町でした。大学は、車がなければショッピングや遊びに行くのが難しいようなところにあり、勉強に集中できる環境でした。日本人留學生は、私を含めた三人だけで、日本人留學生が少ないところも英語力向上には適した場所だったと思います。また、海外からの留學生が多く在学しており、アメリカの学生に加え、アジア、ヨーロッパ、中東など様々な国の学生とたくさん交流できます。比較的小さな大学であり、フレンドリーな人が多いため、人とのつながりが深く、友達を作りやすいこともモンタナの魅力の一つだと思います。



2. 夏期語学研修(ESLプログラム)

大学が始まるまでの約3週間、ESL プログラムに参加しました。このプログラムでは、午前中に英語の学習、主に苦手であったスピーキングやリスニングを中心に学習に取り組みました。午後には、乗馬などのアクティビティや、ネイティブアメリカンのお祭りへの参加、日系アメリカ人の収容所施設を訪れたり、イエローストーン国立公園へ旅行に出かけたりなど、モンタナやアメリカ合衆国の文化・歴史について学びました。ESL 期間中はホームステイ先でホストファミリーとともに生活し、アメリカのライフスタイルを実際に体験することができました。



3. 授業について



授業は、秋学期・春学期ともに4科目ずつ取りました。どの授業も課題が毎日のように出され、平日や日曜日はほぼ課題で追われていました。科目は、ライティングやリーディングなどの基礎的な科目から、ビジネスや教育などの専門科目まで、幅広く選ぶことができます。科目のレベルも選ぶことができるため、自分の学力にあったものを履修できます。ほとんどの授業が10～15人ほどの少人数制なので、先生ともクラスメイトともコミュニケーションが取りや

すく、先生にも気軽に質問することができました。最初から授業がまったく理解できないということはありませんでしたが、やはり現地の学生と一緒に進んで授業を受けるため、授業中に提出する課題が私だけ終わらなかつたりすることもあり、一人で教室に居残りすることもありました。しかし、クラス外での学習や、先生やクラスメイトの支えにより、両学期とも無事乗り越えることができました。その他、学習支援や図書館などの施設も充実しており、課題で困ったときなどによく活用していました。学習環境は非常に整っていたと思います。

4. 大学生活

大学が始まる9月からは、大学内にある寮で生活しました。ダブルルームとシングルルームから部屋を選ぶことができ、前期は友達を作ろうと思いダブルルームを選びました。ルームメイトは地元の学生で、週末には実家のホームパーティに連れて行ってもらったり、一緒にご飯を食べに出かけたりしました。

授業は大体2時から3時までで終わるので、放課後の時間に友達とショッピングに出かけたり、ジムに行って汗を流したり、一緒に図書館で課題をしたりしていました。カフェテリアはバイキング方式で、朝・昼・夜、友達とテーブルを囲み、食事をとりながら交流しました。

秋学期と春学期の間に1カ月ほどの冬休みがあり、学期中にも何度か連休があったため、カリフォル

ニアやミネソタなどの州に旅行に行きました。ハロウィンやサンクスギビング、イースターなどのイベントに加え、お正月も日本のお正月と違った雰囲気があり、文化の違いを感じることができました。また、就学前の子どもたちに日本の文化を伝えるボランティアに参加するなど、毎日が充実していました。



5. 国際交流

私はアメリカの学生以上に、アメリカ外からの留学生との交流が多かったです。中国、韓国の留学生から、フランス、イランなどの留学生まで幅広く異文化交流ができました。留学前はアメリカの文化を学ぶことを大きな目的の一つとしていましたが、様々な国の学生との交流を通し、いろいろな国の文化や歴史、政治問題など、アメリカ文化以外にも幅広く興味を持つようになりました。また学期を通して、留学生向けの様々なイベントが行われました。インターナショナルフードフェアというイベントで生姜焼きとみそ汁を作ったり、ペイントボールやBBQなどに参加したりして交流を深めました。この異文化間交流を通して、様々な価値観に触れることができ、異文化を学ぶとともに、日本の文化や歴史について違う視点から見たり考えたりすることができ、国際交流の重要性を感じました。



6. 最後に

渡航前は不安もたくさんありましたが、交換留学生としてモンタナ留学に行くことを決意して本当

によかったと思います。アメリカでの9か月間、ここには書ききれないほどたくさんの経験をし、たくさんの人に支えられました。英語力向上に加え、年齢や国籍、話す言語も違う人たちとのコミュニケーションの中で、多様な価値観に触れ、たくさんの刺激を受けました。ここでの出会いが、この留学で私が得た一番大きなものだと思います。私は大学生活最後の年になってからの留学でしたが、もっと早くにモンタナに留学できたらよかったと思っています。今後も語学力の向上に励むとともに、日本や世界の文化、歴史、政治など、視野を広げて学んでいきたいと思っています。最後に、この交換留学をサポートしてくださった方々、本当にありがとうございました。

